



シラバス参照

タイトル「**2023年度シラバス**」、フォルダ「**大学院連合教職実践研究科-学校臨床高度化系（2022年度～）**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教育政策と教育行政・学校経営の課題				
編集担当教員	河野 和清				
担当教員	河野 和清				
クラス	－	開講学期	前期	対象学年	
曜日・時限	月 5	講義室	B 5 講義室	授業形態	
単位区分		単位数			
備考					
授業の概要	今日の教育政策は、教育改革として、地方分権、規制緩和を軸に国民社会の変容に対応する公教育システムの転換を図るものとして展開されてきている。保護者や地域住民のニーズに応えるために、「開かれた学校」「特色ある学校」の実現、「学校の自律性確立」が課題とされ、学校経営を自律的に担うスクールリーダーの育成が求められている。教育改革の意味するものを明らかにし、自律的学校経営を確立するために必要な教育行政と学校経営の新たな関係について考察する。				
授業の到達目標	教育政策の動向と教育行政・学校経営の課題について認識を深めることをテーマとする。 ・教育改革の全体像について理解すること。 ・教育行政制度の全体構造と改革課題について理解すること。 ・学校経営の構造と改革課題について理解すること。 ・学校の権限、責任の観点から、教育行政、学校経営の改革動向について考察し、自らの見解を示すことができること				
授業計画	回	内容			
	1	オリエンテーション：全体概要と本授業の方法、到達目標の説明、課題の整理。			
	2	教育改革の背景と展開：中央教育審議会の答申などを基にして、今日に至る教育改革の動向を整理し、その背景や改革課題について検討する。			
	3	教育行政制度と改革課題：教育行政制度の全体構造について法規定を踏まえながら整理し、その改革課題について考察する。			
	4	教育委員会制度の課題：教育委員会制度の変遷を整理し、地方教育行政のあり方について考察する。			
	5	学校経営の法制度と改革課題：学校経営にかかわる法制度を整理するとともに、学校内部における組織と経営に関する構造とその改革課題について考察する。			
	6	教育改革と教育行政・学校経営の課題：国民社会の変容に対応する公教育システムの転換について、これまでの授業内容を踏まえて、改革課題について整理する。			
	7	教育行政改革の事例分析(1)－国レベル：文部科学省が実施してきた教育改革の動向を整理し、その特質や問題点、今後のあり方について議論する。			
	8	教育行政改革の事例分析(2)－都道府県レベル：都道府県・政令指定都市の教育改革の展開を整理するとともに、事例として特定の都道府県・政令指定都市の教育改革を取り上げ、その特質や問題点、今後のあり方について議論する。			
	9	教育行政改革の事例分析(3)－市町村レベル：市町村の教育改革の動向を整理するとともに、事例として特定の市町村の教育改革を取り上げ、その特質や問題点、今後のあり方について議論する。			
	10	学校経営改革の事例分析(1)－教育課程経営改善：教育課程の編成に関する学校裁量権の拡大についてその意義を検討するとともに、具体的事例に即して、学校における教育課程経営の課題について分析し、議論する。			
	11	学校経営改革の事例分析(2)－学校評価：学校評価の制度化についてその意義を検討するとともに、具体的事例に即して、学校評価による学校改善の課題について分析し、議論する。			

	12 学校経営改革の事例分析(3)－保護者・地域住民の参加：学校評議員、学校運営協議会、学校関係者評価などにより、学校経営への保護者・地域住民の参加が拡大してきている実態について整理し、具体的事例に即して、保護者・地域住民の参加の課題について分析し、議論する。 13 学校経営改革の事例分析(4)－学校組織改善：職員会議の制度化、副校長や主幹教諭、指導教諭の設置、「チームとしての学校」など学校組織に関する改革動向について整理し、具体的事例に即して、学校組織改善の課題について、分析し、議論する。 14 新たな公教育のシステムの構想：国と地方、教育委員会と学校との関係を改革し、新たなシステムを構想し、その可能性について、議論を行う。 15 まとめ：講義を振り返り、学んだこと、考えたことを整理し、自らの今後の課題について考察する。
テキスト・参考書	[テキスト]なし。 [参考書]河野和清編著『現代教育の制度と行政〔改訂版〕』福村出版、2017。そのほか、授業において、随時、紹介する。
自学自習についての情報	教育政策、教育行政に関する認識を深めるために、さまざまな言説に触れることが必要であり、自学自習により、関係する論文、研究書を多く読むことが期待される。
授業の形式	講義・演習
アクティブラーニングに関する情報	グループ・ディスカッションを行う。
評価の方法（評価の配点比率と評価の要点）	授業への参加度（30％）、レポート（70％）
その他（授業アンケートへのコメント含む）	受講者との対話に努めます
担当講師についての情報（実務経験）	「アメリカ教育行政学」や「市町村教育委員会制度」などの研究をしています。

